「新防災教育副読本を活用した指導事例」　記入例

学校名　［　岡田小学校　］　　**氏名**　［　渡邊　遥　］

［　小　］**学校**　［４・５・６　］　**年版**　**単元名**　［災害が起きたら　］　**P**　３０～３１

教科･領域名　［　学級活動　］　［　**時間**　４５**分**　］

主な学習活動　（実際に行った活動）	指導の実際
【ねらい】 災害発生時に，自分の生命を守る（自助）ため，身近な人を助ける（共助）ために，自分の地区の指定避難場所や避難する際の行動について考える。 **１　仙台市の避難場所の種類と，岡田小学校の周りの避難場所について理解する。** みんなは災害が起きたときにどこに避難するのか知っていますか。 **２　その場に応じた身の守り方を考える。** 次のような場所で地震が来たときに，どのように非難をしたらよいか考えましょう。 【児童の反応】 〈通学路〉家か学校の近いほうに逃げるって家族で決めた・僕の家は海に近いから絶対に学校に避難をする 〈海〉とにかく海から離れる・高いところに避難する 〈エレベーター〉緊急のボタンを押して助けを呼ぶ・全部の階のボタンを押してすぐに降りる 〈地下〉階段などを使って地上に出る ワークシートに記入した後，グループごとに意見交流をさせた。 **３　減災について考える。** 被害を少なくするためにどんなことに気をつければよいでしょう。 ・普段から家の人とかと避難場所を確認しておく。 ・地域のことをよく知っておく。 **４　まとめ** 地震などの災害はいつ・どこで起こるかわからないから普段から考えておくことが大切です。夏休みには家の人ともう一度災害のときの約束を確認しておきましょう。	〈準備物〉 仙台市ハザードマップ，ワークシート 学習活動１　避難場所について確認している様子 避難場所にいろいろな種類があることをハザードマップで確認している様子 【授業後の感想（発表）】 ・岡田は津波が来るからすぐに逃げなきゃいけないと思いました。 ・家の人と約束していたから，登下校のときの避難の仕方はすぐに思いつきました。 ・お店とかで地震にあったときのことはもう一度約束したいです。

「新防災教育副読本を活用した指導事例」　記入例